令和7年度 出資法人経営評価表

法人名 滋賀県道路公社

1 人員、県の人的関与の状況

(単位:人)

①役員の状況	①役員の状況					R6年度	R5→R6増減	R7年度
理事総数	理事総数							3
	うち県職員	む。)	1	1		1		
	うち県退職職	t員(OB)			2	2		2
	うち常勤役員	数			3	3		3
	うち県	L職員 (特別	1	1		1		
		退職職員(OB)		2	2		2
監事総数					2	2		2
	うち県職員		む。)					
	うち県退職職							
	うち常勤監事							
		職員(特別)				
		退職職員(OB)					
報酬額•		- 1 <i></i>			00	0.1	4	0.1
	常勤役員の平		かくてロ	`	60	61	100	61
	常勤役員の平)	5, 187 15, 640	5, 369 16, 191	182 551	5, 581 16, 826
役員の報酬総額(年額)(千円)					15 640	10 191	551	10.820
<u> </u>	10.10.11		(113)		,	·		·
②職員の状況		an v i anv	(1137		R5年度	R6年度	R5→R6増減	R7年度
②職員の状況 職員総数			\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		R5年度 36	R6年度 36	R5→R6増減	R7年度 33
J 1117 1 1111	常勤職員		(113/		R5年度 36 32	R6年度 36 30	R5→R6増減 △ 2	R7年度 33 29
J 1117 1 1111	常勤職員	《一職員			R5年度 36 32 8	R6年度 36 30 6	R5→R6増減	R7年度 33 29
J 1117 1 1111	常勤職員	『一職員 「うち県退職	職員(OB)	R5年度 36 32 8 4	R6年度 36 30 6 2	R5→R6増減	R7年度 33 29
J 1117 1 1111	常勤職員	《一職員 うち県退職 いらの派遣職	職員(OB 員)	R5年度 36 32 8 4 15	R6年度 36 30 6 2 16	R5→R6増減	R7年度 33 29 5 2 17
J 1117 1 1111	常勤職員プロバ	『一職員 うち県退職 らの派遣職 うち県派遣	職員(OB 員)	R5年度 36 32 8 4 15	R6年度 36 30 6 2 16	R5→R6増減	R7年度 33 29
J 1117 1 1111	常勤職員プロバ	《一職員 うち県退職 らの派遣職 うち県派遣 嘱託職員	職員(OB 員 職員		R5年度 36 32 8 4 15	R6年度 36 30 6 2 16	R5→R6増減	R7年度 33 29 5 2 17
J 1117 1 1111	常勤職員プロバ県等か臨時・	『一職員 うち県退職 らの派遣職 うち県派遣	職員(OB 員 職員		R5年度 36 32 8 4 15 15	R6年度 36 30 6 2 16 16 8	R5→R6増減 △ 2 △ 2 △ 2 1 1 △ 1	R7年度 33 29 5 2 17 17
J 1117 1 1111	常勤職員プロバ県等が臨時・非常勤職員	《一職員 うち県退職 らの派遣職 うち県派員 嘱託職員 うち県退職	職員(OB 員 職員		R5年度 36 32 8 4 15	R6年度 36 30 6 2 16	R5→R6増減	R7年度 33 29 5 2 17
J 1117 1 1111	常勤職員プログ県等が臨時・非常勤職員	《一職員 うち県退職 うの派遣職 うち県派遣 嘱託職員 うち県退職	職員(OB 員 職員 職員(OB		R5年度 36 32 8 4 15 15 9	R6年度 36 30 6 2 16 16 8	R5→R6増減	R7年度 33 29 5 2 17 17 7
職員総数	常勤職員プログ県等が臨時・事常勤職員うち県	ペー職員 うち県退職 うの派遣職 うち職員 うち県 うち県 うち県 最職 最 記職	職員(OB 員 職員 職員(OB		R5年度 36 32 8 4 15 15 9 4	R6年度 36 30 6 2 16 16 8	R5→R6増減	R7年度 33 29 5 2 17 17 7
で プロパー	常勤職員プログリー・現場では、「おります」では、「まります」では、「まりままります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、「まります」では、まります。」では、まります。「まります」では、「まります」では、まります。」は、「まります」では、まります。」は、「まりますます。」は、まります。」は、「まりますままります。」は、まります。」は、まりますまります。」は、まりまります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まります。」は、まりまります。」は、まりまりまります。」は、まりまります。」は、まりまります。」は、まりまりまりままります。」は、まりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまりまります。」は、まりまります。」は、まりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまります。」は、まりまりまりまりまりまりまりまりま	《一職員 うちの県退職 うちの県職員 うちに職退 うちに職職員 は職職員(職員(OB 員 職員 職員(OB		R5年度 36 32 8 4 15 15 9 4 4 3 59,9	R6年度 36 30 6 2 16 16 8 6 4 59.7	R5→R6増減 △ 2 △ 2 △ 1 1 △ 1 2 △ 0.2	R7年度 33 29 5 27 17 17 7 4 3 60. 2
職員総数 プロパー プロパー	常勤職員プログ県等が臨時・事常勤職員うち県	《一職員 うち原退職 うの県職員 うち託職員 うち 職職員 (を を を を を を を を を を は は は は は は は は は	職員(OB 員 職員 職員(OB		R5年度 36 32 8 4 15 15 9 4	R6年度 36 30 6 2 16 16 8	R5→R6増減 △ 2 △ 2 △ 1 1 △ 1 2 1 △ 0.2 △ 164	R7年度 33 29 5 2 17 17 7 4
ボ 職員総数 プロパー プロパー 職員の給	常勤職員プロバ県等が開業がある。ま常勤職員の平均給の平均給のでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	《一職員 うち原退職 うの県職員 うち託職員 うち 職職員 (を を を を を を を を を を は は は は は は は は は	職員(OB 員 職員 職員(OB		R5年度 36 32 8 4 15 15 9 4 4 3 59,9 4,702	R6年度 36 30 6 2 16 16 8 6 4 59.7 4,538	R5→R6増減 △ 2 △ 2 △ 1 1 △ 1 2 △ 0.2 △ 164	R7年度 33 29 5 2 17 17 7 4 3 60.2

2 県の財政的関与の状況

(単位:千円)

	項	目	R5年度	R6年度	R5→R6増減	R7年度	備考(R7内訳)
	補助金	事業費補助金					
県からの	TH 内 址	運営費補助金					
年間 収入額	委託料						
	その他						
	補助金等	合計					
年度末	F度末 県からの借入金						
残高	残高 県からの損失補償・債務保証						
	短期貸付金の金額 (期間中の県からの借入れで、 同一年度に貸付けと返済の双方が行われるもの)						

3 評価

区分	下順 	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			ΙΞO	】	県の所見	
	#1 IPM*X EI	** 15. ** 1	R4 F					
効果性		中期経営計画、年度目標とも策定している。	0	0	0	琵琶湖大橋有料道路第6期事業として、琵琶湖大	・中期経営計画および年度目標が的確に実	
7977711	中期経営計画、年度目標の策定	中期経営計画のみ策定している。			ļ	橋耐震対策および国道477号の4車線化に取り組ん	施されるよう求めていく。	
	1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	年度目標のみ策定している。				でいる。		
		策定していない。				↓ 琵琶湖大橋耐震対策については、耐震補強詳細設計業務を実施するとともに、基礎工耐震補強工事に		
		全ての事業が社会情勢に適合し、その意義は大きい。	0	0	0	計未物を美施するとともに、基礎工順展開強工事に 着手した。		
	事業活動の社会情勢への適合性	社会情勢に照らして意義が薄れてきた事業がいくつかある。				■ 国道477号4車線拡幅工事のうち、大津側について		
		社会情勢に照らして意義の薄れてきた事業が多くある。				は、国道161号真野IC~琵琶湖大橋交差点間1.9km		
		活動について成果目標を定め、目標以上に達成している。				を供用開始した。また、守山側については、土地所有		
		活動について成果目標を定め、目標どおり達成している。				者の55%と契約締結に至っており、令和8年度での		
	活動の成果の達成度	活動について成果目標を定め、概ね目標どおりに達成している。	0	0	0	用地取得100%を目指す。		
		活動について成果目標を定め、達成しているものもあるが、十分ではない。				道路公社の事業は、交通の円滑化を通じて県民の		
		活動について成果目標を定めていない。				福祉の増進および経済活動の発展に寄与することを		
	住民、関係者等のニーズの把握状	多様な調査を実施し、積極的にニーズの把握に努めている。				目的としており、今後も中期経営計画に定めた目標		
	住氏、関係有等の――人の把握仏 況	ニーズを把握するための手段を講じている。	0	0	0	の達成を通じてその実現に努める。		
	76	具体的な取組はしていない。						
		管理費比率が2期連続で減少した。	0			前期と比べ管理費比率が減少しており、運営の効	・前期と比べて管理費比率が減少し、効率的	
ᄽᅑᄴ	経常費用に占める管理費の状況	管理費比率が前期に比べ減少した。	0			率性が保たれていると考える。引き続き効率的な経	な運営がなされていると考える。引き続き適	
劝华注	在吊負用に口める官項負の仏流	管理費比率が前期に比べ増加した。		0		営に努めていく。	正かつ効率的な運営を求めていく。	
		管理費比率が2期連続で増加した。			l			
		経常収益が2期連続で経常費用を上回った。	0	0	0	1		
	夕当山井 弗里のし 泰	経常収益が、当期は経常費用を上回った。				· 		
	経常収益・費用の比率	経常収益が、当期は経常費用を下回った。						
		経常収益が、2期連続して経常費用を下回った。			ļ			
		当期末において債務超過でない。	0	0	0	附帯施設において、空調設備修繕等に係る支出が	・前期と比べ当期純利益が減少したものの、	
ᄻ		2期連続で改善した。				増加したことから当期利益が減少しているものの、剰		
健全性	債務超過の状況	前期に比べ改善した。			ļ	余金の額を超えるものではなく、経営の健全性は確	あり、やむを得ないと考える。その他の財務	
	DE TOTAL DE	前期に比べ悪化した。				保できている。その他の財務指標においても経営の	指標においては、健全な財務状況が確立でき	
		2期連続で悪化した。				健全性を確保できている。	ていることから、引き続き健全な財務状況が	
		2期連続で増加した。				1	確保できるよう、適時適切な指導・助言を行っ	
	11 HB (1-51 V - 11) NB	前期に比べ増加した。		0			ていく。	
	当期純利益の状況	前期に比べ減少した。		<u>V</u>	0			
		2期連続で減少した。	C		<u></u>			
		当期末において累積欠損金はない。	Õ	0	0	1		
		累積欠損金は、2期連続で減少した。	<u> </u>	<u>V</u>	<u></u>			
	累積欠損金の状況	累積欠損金は、前期に比べ減少した。			·····	1		
	(人) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大) (大	累積欠損金は、前期に比べ増加した。			·····	1		
		累積欠損金は、2期連続で増加した。			·····	1		
		流動比率は、2期連続で100%以上であった。	\circ	0	0	1		
		流動比率は、当期は100%以上であった。	<u>~</u>	<u>v</u>	<u>-</u>			
	短期的支払い能力の状況	流動比率は、当期は100%未満であった。						
		流動比率は、2期連続で100%未満であった。						
		当期末において借入金はない。	0 0 0		0			
		2期連続で低下した。	<u> </u>	0 0 0				
	借入金依存率の状況	前期に比べ低下した。						
	10/1年以口 インバル	前期に比べ上昇した。						
		<u>削却に比べ工弁した。</u> 2期連続で上昇した。						
		- MA 大力した。						

区分	評価項目			該当項目に〇		出資法人の所見	県の所見	
스기	正顺识口	行い場合	R4	R5	R6	山貝仏八の川元	赤いりた	
自立性	知事・副知事の代表者への就任状 況	知事・副知事が法人の代表者へ就任していない	0	0	0	_	-	
		知事・副知事が法人の代表者へ就任している						
	県派遣職員の状況	当期末において県派遣職員はない 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県派遣職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ上昇した。	0	0	0	常勤職員に占める県派遣職員や県退職職員の割合に変動はあるものの、非常勤職員も含めた職員総数としては前年度と同数となっている。 プロパー職員の新規雇用ができない状況であること	り、前年度と同程度の人的・技術的支援の継	
	県退職職員の就任状況	当期末において県退職職員はない 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県退職職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ上昇した。	O	0	0	から、第6期事業の円滑な推進のために、県からの 人的・技術的な支援が不可欠であり、事業進捗に応 じた体制確保に努める。		
	県財政支出の状況	当期末において県の財政支出はない。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ上昇した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で上昇した。	0	0	0	県財政支出、短期貸付および損失補償状況のいず れも問題なく、自律的な運営を維持している。	・県からの財政支出もなく、外部からの借入金もないため県の損失補償等の必要もない。財務的には極めて自主性の高い経営を実現している。	
	らの借入れで、同一年度に貸付け	当期間中において県の短期貸付けはない。 県の短期貸付けの額が2期連続で減少した。 県の短期貸付けの額が前期に比べ減少した。 県の短期貸し付けの額が前期と同額である。 県の短期貸付けの額が前期に比べ増加した。 県の短期貸付けの額が2期連続で増加した。	0	0	0			
	損失補償の状況	当期末において県の損失補償・債務保証はない。 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期と同額である。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で増加した。	0	0	0			
透明性	情報公開規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。	0	0	0	財務諸表の作成過程で、公認会計士の指導や助言を受けるとともに、外部の監事による監査を受けた財務状況、組織体制および活動内容について、公社の	況の開示等、透明性の確保に努めるよう指導	
	情報公開の実施状況	ホームページ等により不特定の者に対し情報公開を行っている。 不特定の者に対し情報公開を行っていない。	0	0	0	ホームページに掲載し、適切な情報提供に努めている。		
	文書管理規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。		0	0			
	文書管理の実施状況	情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っている。 情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っていない。	0	0	0			
	会計専門家の関与状況	作成した財務諸表について、会計監査人監査を受けている、または、財務 諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けている。 会計の専門家による監査・指導・助言等は受けていない。	0	0	0			
	業務監査の実施状況	業務監査を実施している。 業務監査を実施していない。	0	0	0			

	出資法人の総	合的評価•対応	県による総合的評価・対応			
事業に関する事項		琶湖大橋本体の耐震化工事については、耐震 ロ耐震補強工事に着手した。また、国道477号 1号真野IC〜琵琶湖大橋交差点間1.9kmを供	・琵琶湖大橋有料道路第6期事業について、順調に事業進捗が図られている。			
財務に関する事項	財務状況は良好であるが、琵琶湖大橋本体 ど、今後も多額の工事費を必要とする事業を行 ともに、第6期事業の計画的な進捗と既存施設 状況の維持に努める。	テうため、引き続き適正な料金徴収に努めると	・引き続き良好な財務状況を維持できるよう、適時適切な助言を行っていく。			
	行政経営方針実施計画に定める目標を達成	けしており、順調に進捗している。	・行政経営方針実施計画に基づく適切な取組がなされており、順調な進捗となっている。			
	実施計画に定める「具体的		実施計画に定める「具体的	りな取組内容」の進捗状況		
行政経営方針実施計画 に関する事項 ※実施計画は次頁参照	工事に着手した。 2 良好な維持管理による安全で快適な有料 長寿命化計画に基づき、琵琶湖大橋をはじる 3 大津港駐車場の早期償還を見据えた経営 令和6年4月に県へ移管済み。 4 次期中期経営計画の策定 令和5年度末に策定済み。現在は、令和6年 計画に基づく取組を実施中。	細設計業務を実施するとともに、基礎工耐震 道路等の提供 かとする橋梁の点検および修繕を実施した。 改善 度から9年度までを計画期間とする中期経営	_			
	実施計画に定める目標	実績	実施計画に定める目標	実績		
	1 第6期事業 事業計画の見直し(令和8年度末) 2 長寿命化計画の見直し 琵琶湖大橋 令和8年度末 その他の橋梁 令和6年度~令和7年度	1 第6期事業 資材費高騰等による事業費の増額と償還 期間の延長を行う事業変更許可(令和7年3 月24日) 2 長寿命化計画の見直し 管理する44橋について、令和2年度から令 和6年度の5か年で計画的に点検、修繕を進 めた。				
総 合 所 見	琵琶湖大橋耐震対策をはじめ、管理道路の 交通の円滑化を図り、県民生活の利便性向上 引き続き、効果的な改築と良好な維持管理に 者ニーズに対応したサービス向上に努める。		ど、県の道路行政の一端を担うとともに、県民生活の利便性向上と経済活動の発展に			

【参考資料】

財務諸表等へのリンク

滋賀県道路公社ホームページへのリンク https://www.shiga-dourokousha.or.jp/annai/index.html

※行政経営方針実施計画

25 滋賀県道路公社 【担当部課名:土木交通部道路整備課】

And I the tendence of the second			references to the second			de l'accominante de la companya del companya de la companya del companya de la co		
基本的な考え方当公社は、有料道路等を借入金で建設し、供用後は利用者からの料金で維持管理している。このため、良好な維持管理による安全で快適な有料道路等の提供と、利用者ニーズに対応したサービスに努めるとともに、料金徴収期間内に建設費を確実に償還していく。								
具体的な取組内容	(令和 4 年) (2022 年度		令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026年度)	目 標		
 琵琶湖大橋有料道路第6期事業の着実 組む。【出資法人】 	な実施に取り	4 車線化拡	冨(用地の取得係	強、工事の推進		○琵琶胡大橋有料道路第6期事業 事業計画の見直し 令和8年度(2026年度)末		
	基礎工耐煙	 要補強・補償調整	基礎工耐震	献・工事の実施				
				事業計画の記	評価・見直し			
2 良好な維持管理による安全で快適な有限 供に取り組む。【出資法人】	料道路等の提	長寿命化計画に基	らく効率的・効果	○長寿命化計画の見直し 琵琶湖大橋 令和8年度(2026年度)末				
			命化計画の見直 (その他の橋梁)	200 3 -1-1	は計画の見直し 琶胡大橋) ●	その他の橋梁 令和6年度〜令和7年度 (2024年度〜2025年度)		
3 大津港駐車場の早期償還を見据えた経組む。【出資法人・県】	営改善に取り	賞還の実施				○大津港駐車場の早期償還の実施早期償還 令和5年度(2023年度)末		
4 次期中期経営計画を策定する。【出資法	次期中期	 経営計画の策定	次期中期態	営計画に基づく目	郊組の実施	○次期中期経営計画の策定		
						令和 5 年度(2023 年度)末		
備考								